

衆議院議長 殿  
参議院議長 殿

2021年 月 日

請願団体 一般社団法人 全国腎臓病協議会

住 所 東京都文京区本駒込2-29-24  
パシフィックスクエア千石802

電 話 03(5395)2631

請願人氏名 (印)

住 所

ほか 名

紹介議員

(印)

# 「腎疾患総合対策」の 早期確立を要望する請願書

## 請願の趣旨

我が国の腎疾患（慢性腎臓病）患者は約1,330万人とされています。腎臓病は「沈黙の病」とも言われ、早期発見が重要な病気であり、いったん発症すると、長期にわたり根気強い治療が必要となります。また、腎臓病は重症化しやすく、末期腎不全に至ると生命を維持するために人工透析治療を続けるか、腎臓移植をするしか方法はありません。

そのような腎臓病患者を一人でも少なくし、国民が健康な毎日を送るためには、発症を予防するための施策が重要であり、また、腎臓病を発症したとしても、重症化を防ぐことが必要です。

近年、糖尿病の合併症として腎不全を発症する患者が多数を占めていますが、腎臓病はもちろん、糖尿病も決して生活習慣だけから発症する病気ではありません。発症の原因を、患者個人の責任にするだけでは腎臓病患者はなくなりません。広く国民的課題として、国を挙げた取り組みが必要です。

また、腎臓病患者の高齢化は著しく、通院をはじめ療養生活にも課題が山積しています。これは超高齢社会である我が国において、すべての高齢者にも共通する課題です。患者がよりよい生活を送れる社会の実現は、国民が安心して充実した毎日を送れる社会の実現にもつながります。

全国腎臓病協議会では、腎疾患分野における保健・医療・福祉の一体的な対策である「腎疾患総合対策」が早期に確立されることを願って、日々の活動に取り組んでいます。その結果、慢性腎臓病（CKD）の重症化を防ぐための施策をはじめ腎疾患対策の予算化などが実現しています。しかし、十分かつ有効な「腎疾患総合対策」が実現しているとはまだまだ言えません。「腎疾患総合対策」が確立し、国民が腎疾患から守られる日が早く達成されるように強く要望します。

